P R E S S R E L E A S E

2019年5月28日、パリ

フランスの企業倒産件数：波の谷間に入った小企業

黄色いベスト運動は今年の初めには企業の倒産件数に大きな影響を及ぼしたものの、動員数の減少と経済成長の回復が、3 月及び 4 月のフランス企業の財政状態に好影響をもたらした。

コファスによる 2019 年 1 月から 4 月までの企業倒産件数の報告が発表された。当該期間中、倒産件数は 0.8%増加して 18,227 件となった。

ただし、この 2 カ月間の傾向が黄色いベスト運動が起きた年の初めとは大きく区別される点には注目すべきだろう。1 月の企業の倒産件数は 9.3%増加した。3 月と 4 月の数字は大幅に改善し、2018 年と比較して約 4%の減少となった。

新しい企業が次々と生まれている

小規模起業家を考慮に入れると、今年の 1 月から 4 月までにフランスで創設された企業の数は、ある種の経済活力を反映している。実際に 265,827 社もの企業が創設されており、年間を通じて 19.5%の増加である。自営業を除いた場合でも 137,571 社が創設されており、増加率は 10%と依然として高い。

しかしコファスでは、これらの好調を示す数字が今後の倒産件数に大きな影響を及ぼすものと予想している。というのも、創設から 5 年後も存続している会社はわずか半分にとどまり、倒産までの平均寿命は 81 カ月前後というデータがあるからである。

経済循環の下降期に入れば、最初に影響を受けるのは小規模企業である。

特に今年初めの経済減速の影響を受けた小規模企業は、倒産した企業の 83%を占め、倒産件数が増えた唯一のカテゴリーとなっている。失業率と購買力に関する期待とともにフランスの世帯のマインドも低下した（これまでの平均を 5 ポイント下回る）ことを反映して、個人的サービスセクターも打撃を受けた。

全体として、好調なのは建設セクターと農業食品セクターのみである。他の主要なセクターではすべて倒産件数はさらに増加し、コファスの予測モデルによれば、2019 年全体で 1.7%増加すると考えられる。

P R E S S R E L E A S E

連絡先:
ジョナタン・ペレズ - Tel. 03 5402 6108 – jonathan.perez@coface.com

Coface: for trade -共にビジネスを構築

70 年の経験と最も幅広い地域のネットワークを持つことにより、コファスは取引信用保険、リスク管理およびグローバルエコノミーという分野において、世界有数のエキスパートとなりました。業界で最も機動的で、グローバルな取引信用保険のパートナーになるという目標のもと、コファスの専門家たちは世界経済の動きを常に分析しながら、50,000 社の顧客事業の成功と成長、活性化のサポートを行っています。コファスグループのサービスとソリューションは、国内及び輸出市場で販売能力を向上するための与信判断のサポートと売掛債権の保全を含みます。2017 年にはコファスの従業員は 100 ヵ国で 4100 名となり連結売上高は 14 億ユーロとなりました

www.coface.jp
コファスSAはユーロネクスト証券市場のA部にて上場しています
ISINコード：FR0010667147 / ティッカーシンボル: COFA